テーマ「学びの連鎖から自己成長を目指す取り組み」

カテゴリー：③教育方法（授業・演習・実習など）

1．学校概要：学校名：公立瀬戸旭看護専門学校　所在地：愛知県瀬戸市進陶町６番地1

課程名：3 年課程　1 学年定員：80 名　修業年限：3 年

内容

基礎看護技術の環境の単元の中にリネン交換がある。リネン交換は技術試験の項目でもある。リネン交換の技術を身につけていくため、自校では2年生が1年生に相談できる場を作るためオフィスアワーを設けている。コロナ禍の際は担当教員がオフィスアワーを行い、技術強化を図っていたが、教員が1人で行っていたため、1回で対応できる人数にも指導にも限界があった。技術試験および実習においてリネン交換の技術を身につけていくには、これまでのオフィスアワーの方法では困難さを感じた。そのためコロナが落ち着いてきた、新カリキュラム改正に合わせ、2年生の学生が1年生に技術を教えていくオフィスアワーの形に変更し、3年目を迎える。この効果について報告する。

実施方法

・実施時間：昼休憩時間の12:40～13:10 の30分間。令和7年度は5回開催。
・2 人 1 組で10ベッド使用。1ベッドに上級生1名を配置。
・1年生は事前に予約表を作成し、実施日を決定。1回最大20名まで。
・主・副を1回ずつできるよう予約表に氏名を記入。
・2年生はボランティアを募り、1年生の参加に合わせた人数は確保している。
それ以外に当日の飛び入り参加も可としている。

感想

上級生から下級生にオフィスアワーする形となり、リネン交換の技術習得に向け、技術の手技やリネン交換における看護の姿勢などを伝え、効果的な学びの連鎖が起こっている。「私たちも先輩から教えてもらったから、自分たちも教えてあげたい」「先輩から教えてもらう機会がなかったら技術試験もダメだったと思う」「自分のためにもなるから参加したい」など上級生からの前向きな反応が多く聞かれた。

また1年生からは「先輩から教えていただいたことにより、自分でやっていた時より上手くなれたので、毎年あって欲しい」「オフィスアワーがとても良かった。また来年もあったら、後輩にアドバイスできると思う」「オフィスアワーを受けたことで自分では気づかなかったことに気づくことができたので良かった」「先輩にどうしたらシーツが下に下がらないか教えてもらい、何回も練習したことにより、前よりシーツが落ちずにできるようになった」など先輩からのアドバイスからより技術が確実に身につき、自信にもつながっている。上級生は下級生に教えることで自分の技術に自信が持て、また下級生は先輩から技術を学ぶことができ、お互いに学び合えることに教育的価値を感じる。またリネン交換を通して、リネンを清潔に取り扱うことでの患者さんへの配慮やしわがないことでの患者さんへの安全性などについて上級生が、1年生に伝えている様子を目にすると、学生の成長を感じ、胸が熱くなる。



その反面、今後の改善点は昼休憩時間での実施は時間的に慌ただしさを感じる。そのため実技・リフレクション・アドバイスなど学生間で交流を図る時間を確保していくと良いのではないかと考えるが、全員参加の形になることで、自ら進んで参加する主体性が課題になることも懸念する。

今後も学年を超えた学習活動を積極的に取り入れ、お互いに学び合う機会を設け、「先輩から教えてもらったことは後輩に伝えていく」といった学びの連鎖から自己成長へつなげていきたいと考える。